様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号(西九州自動車道) 唐津伊万里道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠		
前提条件	提条件 事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている		費用便益比(B/C) = 2.0 (経済的純現在価値(B-C) = 730億円、経済的内部収益率(EIRR) = 8.3%)		
	事業実施環境	■ ルート確定済			
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	(周辺の自治体などから積極的な整備促進要望がなされている)		

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	並行区間の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 ・渋滞損失時間:21.6万人・時間/年(国道202号) ・渋滞損失削減率:未整備時65.8万人時間/年→整備時6.3万人時間/年 9割削減(国道202号)	
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する		
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
物流効率化の支 援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	九州3位のコンテナ取扱量を誇る「伊万里港」から福岡県方面、「唐津港」から長崎県方面へのアクセス向上が見込まれる(伊万里港~最寄りIC:35分⇒15分)	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	「伊万里梨」の産地である伊万里市から大都市圏への流通の利便性向上が見込まれる	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		
	円滑なモビリティの確保	田滑なモビリティの確保 □ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる 物流効率化の支援 ■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	

1.	. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
			□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
			□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
			□ 中心市街地内で行う事業である	
			□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
			□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
			□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
		国土・地域ネットワークの構築	口 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	
			ロ 地域高規格道路の位置づけあり	
			■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	唐津地方生活圏の中心都市「唐津市」と伊万里二次生活圏の中心都市「伊万里市」を最短で連絡する
			□ 現道等における交通不能区間を解消する	
			□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
			■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	唐津市北波多地区(旧北波多村)から唐津市中心市街地へのアクセス向上が見込まれる
		個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
			□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
			■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	年間観光客数が100万人を超える唐津市、伊万里市内の観光施設へのアクセス向上が見込まれる
			□ 特別立法に基づく事業である	
			□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2.	. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該 当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
			□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による 美しい町並みの 形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
			□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
		安全で安心でき るくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次医療施設である福岡大学病院救命救急センターへのアクセス向上が見込まれる
•				

			·
	安全な生活環境 の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	並行する国道202号において、唐津市瀬田原交差点、伊万里市南波多町小麦野交差点における死傷事故率が500件/億台キロを超えている
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交 □ 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量 500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	並行する国道202号は緊急輸送道路に位置づけられている
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路である国道202号が通行止めになった場合の迂回路となる
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	並行する国道202号には、平成8年度道路防災総点検における要対策箇所(未対策箇所)が3箇所存在する
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境 :	地球環境の保全	 動力象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:5,127 t-C02/年
	生活環境の改 善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NO×・PM法対策地域指定の別:対象地域外 (推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等):費用便益分析対象区間 排出削減率:0.1%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NO×・PM法対策地域指定の別:対象地域外 (推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等):費用便益分析対象区間 排出削減率:0.6%削減
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	他のプロジェクトと の関係	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道497号	唐津伊万里道路	18. 1 km	高規格 B	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体	
29, 700	4	九州地方整備局	

① 費 用

<u> </u>			
	改築費	維持修繕費	合 計
基 準 年		平成18年度	
単純合計	841億円	178億円	1,019億円
うち残事業分	643億円	178億円	821億円
基準年における 現在価値(C)	685億円	70億円	755億円
うち残事業分	471億円	70億円	541億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計				
基 準 年		平成18年度						
供 用 年	平成24年度							
単年便益 (初年便益)	45億円 8億円 4億円 57億F							
基準年における 現在価値(B)	1, 191億円	187億円	107億円	1, 485億円				
うち残事業分	1, 191億円	187億円	107億円	1, 485億円				

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	2. 0
費用便益比(残事業)	2. 8

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用便益分析の条件

路線名	事	業	名	延	長	事業種別	事業主体
一般国道497号	唐津伊万里	道路(事業全体)	18.	1 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年) トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A – B
①総トリップ数 (OD表による交通量)	トリッフ゜	1, 923, 440	1, 923, 440	0
②平均トリップ長 (総走行台和÷総トリップ数)	k m	9. 7	9. 7	0.0
③平均速度 (総走行台和÷総走行時間)	km/h	43. 7	44. 3	-0.6
④平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13. 4	13. 2	0. 2
⑤平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	164. 8	163. 0	1. 8
⑥平均事故件数 (総交通事故件数÷総川ップ数)	件/万トリップ			

⁽注)総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益分析の条件

路線名	事 業 名	延長	事業種別	事業主体
一般国道497号	唐津伊万里道路(残事業)	18. 1 km	高規格 B	九州地方整備局

交通状況(推計時点 H42年)

トリップの平均像

		整備なし(A)	整備あり(B)	A – B
①総トリップ数 (OD表による交通量)	トリッフ゜	1, 923, 440	1, 923, 440	0
②平均トリップ長 (総走行台和÷総トリップ数)	k m	9. 7	9. 7	0.0
③平均速度 (総走行台扣÷総走行時間)	km/h	43. 7	44. 3	-0.6
④平均走行時間 (総走行時間÷総トリップ数)	分	13. 4	13. 2	0. 2
⑤平均走行経費 (総走行経費÷総トリップ数)	円/トリップ	164. 8	163. 0	1. 8
⑥平均事故件数 (総交通事故件数÷総トリップ数)	件/万トリップ			

⁽注) 総トリップ数は原則として、整備なしの場合と整備ありの場合で変化しない。

費用便益分析の条件

事業名:一般国道497号唐津伊万里道路

(2)

			項目	チェッ	ック欄					
	算出マニュアル	費用便益分析	所マニュアル :月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	ı						
		その他	7 HENZEL ZENG HAT TO WE MINO?							
		分析対象期間		40:	年間					
5	分析の基本的事項	社会的割引率		4	%					
		基準年次		平成	18年					
	交通流の	1時点のみ推	計	■ (⊦	H42)					
	推計時点	複数時点での	D推計	[
	### # ###	整備の有無る	それぞれで交通流を推計							
	推計の状況			□有	口無					
				ı						
	14-11- m	(三段階推定	(H11t	(H11センサス)						
	推計に用いた OD表	パーソントリッ		-						
	のし衣	(四段階推定	"							
		その他([
交		無								
通	開発交通量の 考慮	有								
流			考慮した開発交通量(トリップ数)	()台	トリップ・/ 日					
推計	<i>与思</i>	有の場合のみ	考慮した理由を記載							
		QーV式を用	いた配分	[
		転換率式を用		[
			換率式の併用による配分	ı						
			ンクパフォーマンス関数を用いた配分)	[
	配分交通量の 推計手法	簡易手法		[
	胜可于丛		小規模事業である	[
		簡易手法の 場合	山間部海岸部で併行道路が少ない	[
		791	その他()							
		その他([
		各回の配分約	冬了時の速度を交通量でウェイト付け							
		して設定								
		採用理由を記載 各道路区間(リンク)毎の混雑の度合いに応じた速度差を考慮するとともに、1 日の平均的な走行状態を表現するため「加重平均速度」を用いた。								
	速度設定の 考え方									
	.,,,,,	最終配分の過								
		採用理由を記載								
		その他(

(3)	/			- L100
			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
			面的に考慮	
	休日交通の		対象路線のみ考慮	П
	影響	考慮する	採用した休日係数	() %
		場合のみ	休用した 休日 休数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え	
				/J C 110 #X
	交通流推計の		112日付け事務連絡に基づく設定	
	時点以外の	その他		
	便益の算定	()	
便		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用	
益	車種別時間	独自に設定し		
の	価値原単位	算出根拠を添	付すること	
算				
定		費用便益分析	fマニュアルの値を使用	
~	車種別走行	独自に設定し		<u> </u>
	経費原単位 経費原単位	算出根拠を添		<u> </u>
	社员小十四	THE INDICE IN	,	
			- 1 - 1 - 1	
	交通事故減少	中央分離帯の		
	便益算定	中央分離帯の	り有無を考慮しない	
	吐眼后统 弗巴泽	考慮しない		
	時間短縮・費用減 少・事故減少以外	考慮する		
	の便益	(考慮の場合、	算出根拠を添付すること)	
	07 大皿			
	その他			
	·			
		= + 40 = + + = 1 =	シュートスはナゼロ	
	古光串		画による値を採用	
	事業費	標準投資パタ		
費		その他(H18ま		
用		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用	
の	維持管理費	事務所等の	実績値より設定	
算		その他()	
定	雪寒費		とは寒冷地域である	
, -	その他	1,7,1,0,7,0,1,		
1	その他			
4.	ての他			
ļ				
<u> </u>				

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道497号唐津伊万里道路(事業全体)

採用単価の根拠 一般国道(直轄) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円 0.27 181 4.89

				0.27	18.1	4.89
左次	左莊	割戻率	事業費単純価値		維持修繕	
<u>年次</u> -20年目	年度 H 4	1.7317	<u> </u>	現在価値 2	単純価値	現在価値
-19年目	H 5	1.6651	1	2		
-18年目	H 6	1.6010	4	6		
-17年目	H 7	1.5395	2	2		
-16年目	H 8	1.4802	1	2		
-15年目	H 9	1.4233	2	3		
-14年目	H 10	1.3686	3	5		
-13年目	H 11	1.3159	12	16		
-12年目	H 12	1.2653	15	19		
	H 13	1.2167 1.1699	13 13	15 15		
-9年目	H 15	1.1249	17	19		
-8年目	H 16	1.0816	28	31		
-7年目	H 17	1.0400	36	38		
-6年目	H 18	1.0000	49	49		
-5年目	H 19	0.9615	66	64		
-4年目	H 20	0.9246	66	61		
-3年目	H 21	0.8890	66	59		
	H 22	0.8548	66	57 54		
	H 23	0.8219	66	54	^	0
1年目	H 24	0.7903 0.7599	34 34	27 26	2	2
2年目	H 26	0.7399	16	12	3	2
3年目	H 27	0.7026	16	11	3	2
4年目	H 28	0.6756			5	3
5年目	H 29	0.6496			5	3
6年目	H 30	0.6246			5	3
7年目	H 31	0.6006			5	3
8年目	H 32	0.5775			5	3
9年目 10年目	H 33	0.5553 0.5339	53	28	5 5	3 2
11年目	H 34	0.5339	53	28	5	2
12年目	H 36	0.4936	53	26	5	2
13年目	H 37	0.4746	53	25	5	2
14年目	H 38	0.4564			5	2
15年目	H 39	0.4388			5	2
16年目	H 40	0.4220			5	2
17年目	H 41	0.4057			5	2
18年目 19年目	H 42	0.3901			5 5	2
20年目	H 43	0.3751 0.3607			5	2
20年日 21年目	H 45	0.3468			5	2
22年目	H 46				5	2
23年目	H 47	0.3207			5	1
24年目	H 48	0.3083			5	1
25年目	H 49	0.2965			5	1
26年目	H 50				5	1
27年目	H 51	0.2741			5	1
28年目	H 52	0.2636			5	1
29年目 30年目	H 53	0.2534 0.2437			5 5	1
31年目	H 55	0.2343			5	1
32年目	H 56				5	1
33年目	H 57	0.2166			5	1
34年目	H 58	0.2083			5	1
35年目	H 59	0.2003			5	1
36年目	H 60				5	1
37年目	H 61	0.1852			5	1
38年目	H 62	0.1780	0.4	10	5 5	1
39年目	H 63	0.1712	-94	-16	5	1
合 計	1		747	685	178	70
単純事業費計			841		178	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

延長(km) 単純価値(億円)

費用の現在価値算定表

箇所名:一般国道497号唐津伊万里道路(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(億円)

固附名:一般国道49/5	ラ冶 キガノ	J 王坦哈(2	太尹 未/	単価(億円) 0.27	延長(km) 18.1	単純価値(億円) 4.89	
			事業費		維持修繕		
年次	年度	割戻率	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	
-20年目	H 4	1.7317					
-19年目	H 5	1.6651					
-18年目	H 6	1.6010					
-17年目	H 7	1.5395					
	H 8	1.4802 1.4233					
-13年日	H 10	1.3686					
-13年目	H 11	1.3159					
-12年目	H 12	1.2653					
-11年目	H 13	1.2167					
-10年目	H 14	1.1699					
-9年目	H 15	1.1249					
-8年目	H 16	1.0816					
-7年目	H 17	1.0400					
	H 18	1.0000	00	0.4			
	H 19 H 20	0.9615 0.9246	66 66	64 61			
	H 21	0.8890	66	59			
-2年目	H 22	0.8548	66	57			
<u> </u>	H 23	0.8219	66	54			
供用開始年次	H 24	0.7903	34	27	2	2	
1年目	H 25	0.7599	34	26	2	2	
2年目	H 26	0.7307	16	12	3	2	
3年目	H 27	0.7026	16	11	3	2	
4年目	H 28	0.6756			5	3	
5年目	H 29 H 30	0.6496			5 5	3	
6年目 7年目	H 30	0.6246 0.6006			5	3	
8年目	H 32	0.5775			5	3	
9年目	H 33	0.5553			5	3	
10年目	H 34	0.5339	53	28	5	2	
11年目	H 35	0.5134	53	27	5	2	
12年目	H 36	0.4936	53	26	5	2	
13年目	H 37	0.4746	53	25	5	2	
14年目	H 38	0.4564			5	2	
15年目	H 39	0.4388			5	2	
16年目 17年目	H 40 H 41	0.4220 0.4057			5 5	2	
18年目	H 42	0.3901			5	2	
19年目	H 43	0.3751			5	2	
20年目	H 44				5	2	
21年目	H 45	0.3468			5	2	
22年目	H 46	0.3335			5	2	
23年目	H 47	0.3207			5	1	
24年目	H 48	0.3083			5	1	
25年目	H 49	0.2965			5	1	
26年目 27年目	H 50 H 51	0.2851 0.2741			5 5	1	
28年目	H 52	0.2636			5	1	
29年目	H 53	0.2534			5	1	
30年目	H 54	0.2437			5	1	
31年目	H 55	0.2343			5	1	
32年目	H 56	0.2253			5	1	
33年目	H 57	0.2166			5	1	
34年目	H 58	0.2083			5	1	
35年目	H 59	0.2003			5	1	
36年目 37年目	H 60 H 61	0.1926 0.1852			5 5	1	
38年目	H 62	0.1832			5	1	
39年目	H 63		-34	-6	5	1	
	11 00	V.1712	U-1	U	J	'	
合 計	•		608	471	178	70	
単純事業費計			640		178		
半 杷尹未复訂			643		1/8		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道497号唐津伊万里道路(事業全体)

		7F. C. X.																	合	計
	年度	総走行台	まれの年次別伸び率	割引率			走行時間短網	宿便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便	益(億円)		(億円)			
	(基準年)		北九州ブロック)				,21,1,1,1	III DC IIII (IIO I I)		現在価値			72134230#			現在価値	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	現在価値	便益合計	現在価値
年次	H18	乗用車類	貨物車類 全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	(1) × (A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	3	③×(A)	(1)~(3))	割戻率4%
供用開始年次			0. 99865 1. 00510	0.7903	24	3	10	8	45	36	3	0		2	8		4	3	57	45
	H 25	1. 00763	0. 99865 1. 00507	0.7599	24	3	10	8	45	34	3	0		2	8			3	57	
	H 26	1. 00757	0. 99865 1. 00504	0.7307	29	4	13	9	55	40	4	0		2	10	7	5	4	70	51
	H 27	1. 00751	0. 99865 1. 00502	0.7026	29	4	13	9	55	39	4	0		2	10	7	5	4	70	49
	H 28	1. 00746	0.99864 1.00499	0.6756	34	5	15	11	64	43	4	0		3	12		·	4	82	56
	H 29	1. 00740	0. 99864 1. 00497	0.6496	35	5	15	11	65	42	4	0		3	12		6	4	82	54
	H 30	1. 00735	0.99864 1.00494	0.6246 0.6006	35 35	5	15	11	65	41	4	0		3	12	/	6	4	83	52
	H 31	1. 00729	0.99864 1.00492	0.6006	35	5 5	15 15	11	65	39 38	4	0	4	3	12	/	6	4	83 83	50 48
	H 32 H 33	1. 00157 1. 00157	0. 99595 1. 00004 0. 99594 1. 00004	0.5775	35	5 5	13	11	65 65	36	4	0		3	12 12		·	4	83	48
	H 34	1. 00157	0. 99594 1. 00004 0. 99592 1. 00004	0.5339	36	5 5	14	11	65	35	4	0		3	12			4	83	46
	п 3 4 Н 35	1. 00156	0. 99592 1. 00004	0.5339	36	5	14	11	65	34	4	0		3	12		6	3	83	43
	H 36	1. 00156	0. 99589 1. 00004	0.4936	36	5	14	10	65	32	4	0		3	12		·	3	83	43
	H 37	1. 00156	0. 99587 1. 00004	0.4336	36	5	14	10	65	31	4	0	<u> </u>	3	11	5	·	3	83	39
	H 38	1. 00156	0. 99585 1. 00004	0.4564	50	7	20	15	91	42	5	0		3	13		8	4	112	51
	H 39	1. 00155	0. 99584 1. 00004	0.4388	50	7	20	15	91	40	5	0		3	13		8	3	112	49
	H 40	1. 00155	0. 99582 1. 00004	0.4220	50	7	20	15	91	38	5	0		3	13		·	3	112	47
	H 41	1. 00155	0. 99580 1. 00004	0.4057	50	7	20	14	91	37	5	0		3	13		8	3	112	45
18年目	H 42	0. 99690	0. 99472 0. 99633	0.3901	50	7	20	14	91	35	5	0	5	3	13	5	8	3	111	43
		0. 99689	0. 99469 0. 99632	0.3751	50	7	19	14	91	34	5	0	5	3	13	5	8	3	111	42
	H 44	0. 99688	0. 99467 0. 99630	0.3607	50	7	19	14	90	33	5	0	5	3	13	5	8	3	111	40
21年目	H 45	0. 99687	0. 99464 0. 99629	0.3468	50	7	19	14	90	31	5	0	5	3	13	4	8	3	110	38
22年目	H 46	0. 99686	0. 99461 0. 99628	0.3335	50	7	19	14	89	30	5	0	4	3	13	4	8	3	110	37
23年目	H 47	0. 99685	0. 99458 0. 99626	0.3207	49	7	19	14	89	29	5	0	4	3	13	4	8	2	109	35
24年目	H 48	0. 99684	0. 99455 0. 99625	0.3083	49	7	19	14	89	27	5	0	4	3	12	4	8	2	109	34
25年目	H 49	0. 99683	0. 99452 0. 99623	0.2965	49	7	19	14	88	26	5	0	4	3	12	4	8	2	108	32
26年目	H 50	0. 99682	0. 99449 0. 99622	0.2851	49	7	19	14	88	25	5	0	4	3	12	4	8	2	108	31
27年目	H 51	0. 99681	0. 99446 0. 99621	0.2741	49	7	19	14	88	24	5	0	4	3	12	3	7	2	107	29
	H 52	0. 99634	0. 99695 0. 99650	0.2636	49	7	19	14	87	23	5	0	4	3	12	3	7	2	107	28
		0. 99632	0. 99695 0. 99648	0.2534	48	7	18	14	87	22	5	0	4	3	12	3	7	2	107	27
		0. 99631	0. 99694 0. 99647	0.2437	48	7	18	14	87	21	5	0		3	12		7	2	106	26
		0. 99630	0. 99693 0. 99646	0.2343	48	7	18	13	86	20	5	0		3	12		7	2	106	25
		0. 99628	0. 99692 0. 99645	0.2253	48	7	18	13	86	19	5	0		3	12		7	2	106	24
		0. 99627	0. 99691 0. 99643	0.2166	48	7	18	13	86	19	5	0		3	12		7	2	105	23
		0. 99625	0.99690 0.99642	0.2083	47	7	18	13	86	18	5	0	<u> </u>	3	12		7	2	105	22
		0. 99624	0. 99689 0. 99641	0.2003	47	7	18	13	85	17	5	0		3	12		7	1	104	21
		0. 99623	0. 99688 0. 99639	0.1926	47	7	18	13	85	16	5	0		3	12		7	1	104	20
		0. 99621	0. 99687 0. 99638	0.1852	47	6	18	13	85	16	5	0		3	12			1	104	19
		0. 99620	0. 99686 0. 99637	0.1780	47	6	18	13	84	15	5	0		3	12			1	103	18
	H 63	0. 99618	0. 99685 0. 99635	0.1712	47	6	18	13	84	14	5	0		3	12		,	1	103	18
合 計					1,723	236	678	498	3,136	1,191	183	14	170	107	473	187	277	107	3,886	1,485

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道497号唐津伊万里道路(残事業)

又皿ひがし		77 72 72			国所自: 版目是 10/ 引吊件/ 万里是路(及手术/																	
	年度	■ 年度 ■ 総走行台キロの年次別伸び率			走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合	計			
	平 及 (基準年)			総定11 百年100年次別押び率 (北九州ブロック)		割引率			正 行時间短	循便益(怎円)		現在価値			正仃栓貧 减	少使益(怎円) 	現在価値	争议减少性	現在価値	便益合計	(億円) 現在価値
年次		乗用車類 貨物車類		(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)	3	③×(A)	(1)~(3)	割戻率4%		
供用開始年次	H 24	1. 00769 0. 99865	1.00510	0.7903	24	3	10	8	45	36	3	0	3	2	8	7	4	3	57	45		
1年目	H 25	1. 00763 0. 99865	1.00507	0.7599	24	3	10	8	45	34	3	0	3	2	8	6	4	3	57	44		
2年目	H 26	1. 00757 0. 99865	1.00504	0.7307	29	4	13	9	55	40	4	0	4	2	10	7	5	4	70	51		
3年目	H 27	1. 00751 0. 99865	1. 00502	0.7026	29	4	13	9	55	39	4	0	4	2	10	7	5	4	70	49		
4年目	H 28	1. 00746 0. 99864	1.00499	0.6756	34	5	15	11	64	43	4	0	4	3	12	8	6	4	82	56		
5年目	H 29	1.00740 0.99864	1.00497	0.6496	35	5	15	11	65	42	4	0	4	3	12	7	6	4	82	54		
6年目	H 30	1. 00735 0. 99864	1.00494	0.6246	35	5	15	11	65	41	4	0	4	3	12	7	6	4	83	52		
7年目	H 31	1. 00729 0. 99864	1.00492	0.6006	35	5	15	11	65	39	4	0	4	3	12	7	6	4	83	50		
8年目	H 32	1. 00157 0. 99595	1.00004	0.5775	35	5	15	11	65	38	4	0	4	3	12	7	6	4	83	48		
9年目	H 33	1. 00157 0. 99594	1.00004	0.5553	35	5	14	11	65	36	4	0	4	3	12	6	6	4	83	46		
10年目	H 34	1. 00156 0. 99592	1.00004	0.5339	36	5	14	11	65	35	4	0	4	3	12	6	6	3	83	44		
11年目	H 35	1. 00156 0. 99590	1.00004	0.5134	36	5	14	11	65	34	4	0	4	3	12	6	6	3	83	43		
12年目	H 36	1. 00156 0. 99589	1.00004	0.4936	36	5	14	10	65	32	4	0	4	3	12	6	6	3	83	41		
13年目	H 37	1. 00156 0. 99587	1.00004	0.4746	36	5	14	10	65	31	4	0	4	3	11	5	6	3	83	39		
14年目	H 38	1. 00156 0. 99585	1.00004	0.4564	50	7	20	15	91	42	5	0	5	3	13	6	8	4	112	51		
15年目	H 39	1. 00155 0. 99584	1.00004	0.4388	50	7	20	15	91	40	5	0	5	3	13	6	8	3	112	49		
16年目	H 40	1. 00155 0. 99582	1.00004	0.4220	50	7	20	15	91	38	5	0	5	3	13	5	8	3	112	47		
17年目	H 41	1. 00155 0. 99580	1.00004	0.4057	50	7	20	14	91	37	5	0	5	3	13	5	8	3	112	45		
18年目	H 42	0. 99690 0. 99472	0.99633	0.3901	50	7	20	14	91	35	5	0	5	3	13	5	8	3	111	43		
19年目	H 43	0. 99689 0. 99469	0.99632	0.3751	50	7	19	14	91	34	5	0	5	3	13	5	8	3	111	42		
20年目	H 44	0. 99688 0. 99467	0.99630	0.3607	50	7	19	14	90	33	5	0	5	3	13	5	8	3	111	40		
21年目	H 45	0. 99687 0. 99464	0.99629	0.3468	50	7	19	14	90	31	5	0	5	3	13	4	8	3	110	38		
22年目	H 46	0. 99686 0. 99461	0.99628	0.3335	50	7	19	14	89	30	5	0	4	3	13	4	8	3	110	37		
23年目	H 47	0. 99685 0. 99458	0.99626	0.3207	49	7	19	14	89	29	5	0	4	3	13	4	8	2	109	35		
24年目	H 48	0. 99684 0. 99455	0.99625	0.3083	49	7	19	14	89	27	5	0	4	3	12	4	8	2	109	34		
25年目		0. 99683 0. 99452	0. 99623	0.2965	49	7	19	14	88	26	5	0	4	3		4	8	2	108	32		
26年目		0. 99682 0. 99449	0. 99622	0.2851	49	7	19	14	88	25	5	0	4	3		4	8	2	108	31		
27年目		0. 99681 0. 99446	0. 99621	0.2741	49	7	19	14	88	24	5	0	4	3		3	7	2	107	29		
	H 52	0. 99634 0. 99695	0.99650	0.2636	49	7	19	14	87	23	5	0	4	3		3	7	2	107	28		
29年目		0. 99632 0. 99695	0. 99648	0.2534	48	7	18	14	87	22	5	0	4	3		3	7	2	107	27		
30年目		0. 99631 0. 99694	0. 99647	0.2437	48	7	18	14	87	21	5	0	4	3		3	7	2	106	26		
31年目		0. 99630 0. 99693	0. 99646	0.2343	48	7	18	13	86	20	5	0	4	3	12	3	7	2	106	25		
32年目		0. 99628 0. 99692	0. 99645	0.2253	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3		3		2	106	24		
		0. 99627 0. 99691	0.99643	0.2166	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3		3	7	2	105	23		
34年目		0. 99625 0. 99690	0. 99642	0.2083	47	7	18	13	86	18	5	0	4	3		3	7	2	105	22		
35年目	H 59	0. 99624 0. 99689	0. 99641	0.2003	47	7	18	13	85	17	5	0	4	3		2	7	1	104	21		
		0. 99623 0. 99688	0. 99639	0.1926	47	7	18	13	85	16	5	0		3		2	7	1	104	20		
		0. 99621 0. 99687	0. 99638	0.1852	47	6	18	13	85	16	5	0	4	3		2	7	1	104	19		
38年目		0. 99620 0. 99686	0. 99637	0.1780	47	6	18	13	84	15	5	0	4	3		2	7	1	103	18		
	H 63	0. 99618 0. 99685	0. 99635	0.1712	47	6	18	13	84	14	5	0		3		2	7	1	103	18		
合 計					1,723	236	678	498	3,136	1,191	183	14	170	107	473	187	277	107	3,886	1,485		